

新型コロナウイルス感染症に関する



偏見や差別をなくしましょう

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、感染した人やその家族、医療機関の関係者、特定の国の人、海外から帰国された人などに対する誹謗中傷や、根拠のない差別的な書込みがインターネット等で広がっています。

このような誤った情報が広がることは、感染が疑われる症状が出て、相談や情報提供をためらってしまうなど、感染拡大防止を妨げることにもなりかねません。

誤った情報や不確かな情報に惑わされ、人を傷つけるような言動をすることはあってはならないことです。確かな情報に基づいて、人権に配慮した適切な行動をお願いします。

日本赤十字社作成
「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～」より

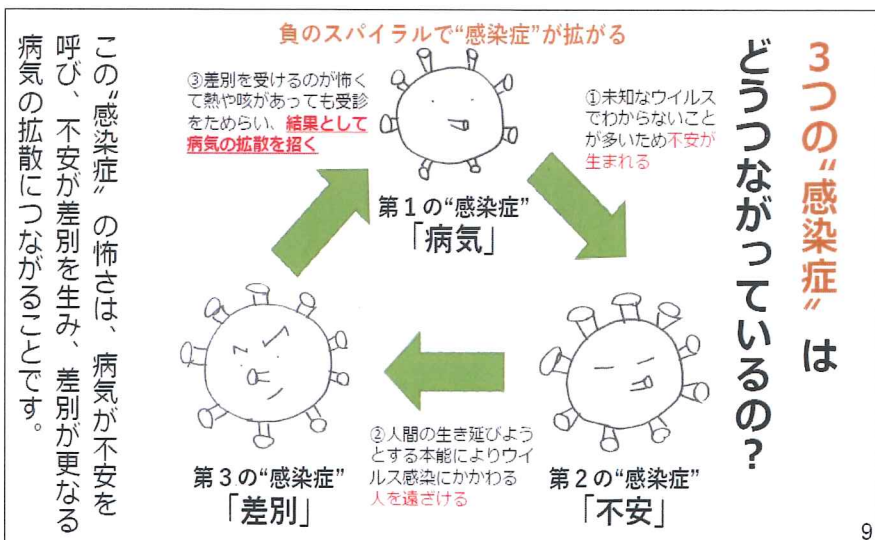
*全文は「日本赤十字社」のホームページから
ご覧いただけます

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。

ワタシには3つの顔があるふっふっふ...

実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。

知らず知らずのうちに私達にも影響を受けていることをみなさんはご存知ですか？



不安から、誰かを傷つけてしまうのも、誰かを偏見や差別から守れるのも私たちです。

みなさんのご理解、ご協力をお願いします。



= 法務省人権相談窓口 =

- ・みんなの人権110番 0570-003-110
 - ・子どもの人権110番 0120-007-110
 - ・女性の人権ホットライン 0570-070-810
 - ・外国語人権相談ダイヤル (Foreign-language Human Rights Hotline) 0570-090911 [平日 AM9:00~PM5:00]
- [平日 AM8:30~PM5:15]